

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/3/31	2021/4/9	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	29,178.80	29,768.06	30,714.52	2021/2/16	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	32,981.55	33,800.60	33,810.87	2021/4/9	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	110.72	109.67	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 感染再拡大への懸念などを背景とする利益確定売りに押され、小幅に下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲85.94円(▲0.29%)、TOPIXが▲12.15ポイント(▲0.62%)となり、感染再拡大への懸念などを背景とする利益確定売りに押され、小幅に下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、海運業、その他製品、鉄鋼などの16業種が上昇した一方、医薬品、空運業、陸運業などの17業種が下落しました。

週初5日は、先々週末に発表された米雇用統計が市場予想を上回る改善を示したことなどが好感され、上昇して始まりました。その後は、①ISM非製造業景況指数が統計開始来の最高水準となったことなどにより世界経済の回復期待が高まったことや、②米金利の低下を受けて国債対比で割高感が薄れたことなどにより、NYダウおよびS&P500が過去最高値を更新したことなどが上昇要因となりましたが、①日経平均で3万円を上回る水準では高値警戒感が意識されたこと、②今後本格化する1-3月期決算発表への様子見姿勢が高まったこと、③新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が強まったことなどが利益確定売りを誘ったことで一進一退の展開となり、週末9日は先々週末比で小幅下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
4月12日	Mon	欧州	ユーロ圏小売売上高(前月比)	2月	▲5.9%
4月13日	Tue	中国	貿易収支	3月	+781.7億ドル
		ドイツ	ZEW期待指数	4月	76.6
4月14日	Wed	米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	3月	+1.3%
		日本	機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比)	2月	▲4.5%
		欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	2月	+0.8%
		米国	ペーシュブック(地区連銀経済報告)	4月	
4月15日	Thu	日本	日銀 地域経済報告(さくらレポート)公表	4月	
		米国	ニューヨーク連銀製造業景況指数	4月	+17.4
		小売売上高(除自動車)(前月比)	3月	▲2.7%	
		フィラデルフィア連銀製造業景況指数	4月	+51.8	
4月16日	Fri	中国	鉱工業生産(前月比)	3月	▲2.2%
		鉱工業生産(年初来/前年比)	3月	+35.1%	
		GDP(国内総生産)成長率(前年比)	1-3月期	+6.5%	
		日本・米国	日米首脳会談(ワシントン)		
米国	住宅着工件数	3月	+1,421千件		
			ミシガン大学消費者信頼感指数	4月	84.9

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が重しとなるも、企業業績への期待などから底堅く推移～

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が重しとなるも、企業業績への期待などから底堅く推移すると予想します。

本日から、東京都を含む6都府県に「まん延防止等重点措置」の適用対象地域が拡大されますが、今後更に対象地域が拡大される可能性があることは株価の重しに働くとみています。また、高齢者向けに新型コロナウイルスのワクチン接種も本格化しますが、一部でワクチン供給が滞ることや医療関係者の人員不足への懸念が浮上しており、経済活動の正常化時期を見極める上で接種実績に注視する必要があると考えます。一方で、今後本格化する日米の1-3月期決算発表においては堅調な業績が見込まれており、業績改善への期待感が株価を下支えするとみています。また後半には、米国の小売売上高や鉱工業生産、中国のGDPなどが発表されますが、足元まで世界経済の回復を牽引している両国で良好な経済指標の発表が続けば、経済正常化期待が維持され買い安心感につながると考えます。

その他の注目材料として、日本では14日の機械受注、米国では13日のCPI、14日のペーシュブック、16日の住宅着工件数、欧州では14日のユーロ圏鉱工業生産、ドイツでは13日のZEW期待指数、中国では13日の貿易収支などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会